

2 微生物係

微生物係は、保健所等行政機関からの依頼により、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）、食品衛生法等に基づき、赤痢菌、腸管出血性大腸菌等の腸管系病原菌、食中毒菌及び食品の収去検査における細菌等の検査並びに HIV、インフルエンザウイルス、ノロウイルス等のウイルス検査を行っている。また、国の厚生労働科学研究に参加するなど、微生物検査に係わる調査研究も行っている。なお、2013 年度に発生した食中毒は 12 事例（患者数 194 人）あり、原因物質別ではノロウイルス 4 事例、カンピロバクター 2 事例、アニサキス 3 事例、植物性自然毒 3 事例であった。

さらに、感染症発生動向調査事業としてウイルス検査を実施し流行株の検出状況や、市内の感染症の発生動向を週毎に当所ホームページに掲載し、市民、医療機関等へ情報提供するなど地方感染症情報センターとしての役割を担っている。

2013 年度における主な業務内容は次のとおりである。また、微生物検査の実施状況は表 1 のとおりである。

【業務内容】

(1) 細菌検査

ア 防疫検査

細菌の防疫検査は、赤痢、腸管出血性大腸菌等 3 類感染症発生届出に伴う患者及び接触者の便として 223 検体の検査依頼があった。

イ 食中毒菌検査

食中毒様症状を呈した患者の便及び関連施設の保存食等 166 検体、1,266 項目の検査依頼があった。

ウ 食品の収去検査

本市の収去計画に基づき、細菌検査 341 検体、1,174 項目の検査依頼があった。検査項目は食品衛生法の規格基準に基づく検査が主であった。

収去検査の実施状況については表 2 のとおりであった。

エ その他細菌検査

浴槽水のレジオネラ属菌検査の依頼が 42 件あった。

オ 一般依頼検査

一般の検査依頼はなかった。

(2) ウイルス検査

ア 防疫検査

ウイルスの防疫検査は、インフルエンザ、麻しん、A 型肝炎の患者 16 検体の検査依頼があった。

イ 食中毒検査

食中毒様症状を呈した患者の便及び関連施設の保存食等 212 検体、212 項目（ノロウイルス）の検査依頼があった。

ウ 食品の収去検査

本市の収去計画に基づき、ウイルス検査 3 検体 3 項目の検査依頼があった。

エ HIV抗体検査

各区保健センターに相談に訪れ、検査を希望した者 989 人の検査依頼があった。検査は、札幌市エイズ抗体検査実施要領に基づき、PA 法による一次検査（スクリーニング）を行った。

オ 一般依頼検査

一般からの検査依頼はなかった。

(3) 感染症発生動向調査事業

感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、市内15箇所の医療機関（小児科10、内科4、眼科1施設）から搬入された478検体について病原体ウイルスの検査を行った。

検査対象疾病はインフルエンザ、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、手足口病、流行性角結膜炎及び急性出血性結膜炎の6疾病とし、患者から採取した検体の検査を行った。検査結果は表3のとおりである。

(4) 調査研究

食中毒事例及び感染症に関する調査研究

札幌市中央卸売市場に流通する鮮魚介類のクドア属寄生状況について

表1 微生物検査実施状況

2013年度

区 分		検 体 数	項 目 数	
細 菌	防疫検査	223	223	
	食中毒検査 *1	166	1,266	
	収去検査 *2	341	1,174	
	結核菌検査 (VNTR)	127	127	
	その他細菌検査 (レジオネラ属菌検査)	42	42	
	一般依頼	-	-	
	合 計	899	2,832	
ウ イ ル ス	防疫検査	インフルエンザ	7	7
		麻疹	8	8
		その他(A型肝炎)	1	1
	食中毒検査 *1	212	212	
	収去検査 *2	3	3	
	その他ウイルス検査	-	-	
	HIV検査	989	1,978	
	一般依頼	-	-	
	感染症発生動向調査	小児科(分離)	346	346
		内 科(分離)	50	50
眼 科(分離)		82	82	
合 計	1,698	2,687		
総 数	2,461	5,519		

*1 食中毒検査のうち133件は細菌、ウイルス両方の検査を実施

*2 収去検査のうち3件は細菌、ウイルス両方の検査を実施

表2 収去検査実施内訳

2013年度

食品の分類	微生物検査										
	検査検体数	検査項目数	細菌数	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属菌	腸炎ビブリオ (最確数を含む)	腸管出血性大腸菌 (O157)	ノロウイルス	その他	
総数	341	1,177	234	247	161	149	29	179	3	175	
内訳	魚介類	25	75	25	22	-	-	22	-	3	3
	魚介類加工品	25	57	16	25	-	-	-	16	-	-
	肉卵類・その加工品	40	148	5	1	15	19	-	19	-	89
	冷凍食品	17	34	17	4	-	-	-	-	-	13
	穀類・その加工品	8	24	8	1	8	-	-	-	-	7
	野菜・果物・豆類・その加工品	36	86	14	14	8	-	-	28	-	22
	菓子類	40	160	40	40	40	40	-	-	-	-
	清涼飲料水	17	40	-	17	-	-	-	9	-	14
	氷雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	缶詰・びん詰食品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳及び乳製品・その加工品	31	77	12	26	-	-	-	17	-	22
	アイスクリーム類・氷菓	7	14	7	7	-	-	-	-	-	-
その他の食品	95	462	90	90	90	90	7	90	-	5	

表3 感染症発生動向調査病原体検査状況

2013年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
小児科検体数	32	17	11	13	20	10	14	13	21	78	86	31	346	
検出病原体	インフルエンザ [※] AH1pdm型	-	-	-	-	-	-	1	4	32	35	10	82	
	インフルエンザ [※] A香港型	9	1	-	-	-	-	8	7	12	6	3	46	
	インフルエンザ [※] B型	11	10	1	-	-	-	-	2	20	34	15	93	
	アデ [※] ノウイルス1型	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	3	
	アデ [※] ノウイルス2型	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	4	
	アデ [※] ノウイルス4型	-	2	1	1	3	-	-	-	-	-	-	7	
	アデ [※] ノウイルス6型	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
	コクサッキーウイルス A2 型	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	コクサッキーウイルス A6 型	-	-	-	-	6	6	5	1	-	-	-	-	18
	コクサッキーウイルス A8 型	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	コクサッキーウイルス A9 型	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	4
	コクサッキーウイルス A16 型	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	単純ヘルペ [※] スウイルス1型	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	パ [※] ラインフルエンザ [※] 1型	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	2
	パ [※] ラインフルエンザ [※] 3型	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
ウイルス不検出	9	-	6	7	9	3	6	2	8	13	11	3	77	
内科検体数	2	2	0	0	0	0	0	1	0	10	20	15	50	
検出病原体	インフルエンザ [※] AH1pdm型	-	-	-	-	-	-	1	-	5	11	6	23	
	インフルエンザ [※] A香港型	2	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	6	
	インフルエンザ [※] B型	-	2	-	-	-	-	-	-	1	6	4	13	
	ウイルス不検出	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	4	8	
眼科検体数	5	9	15	13	2	8	8	6	3	8	4	1	82	
検出病原体	アデ [※] ノウイルス 3 型	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	アデ [※] ノウイルス4型	2	2	1	-	-	1	1	-	-	-	-	7	
	アデ [※] ノウイルス56型	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	4	
	単純ヘルペ [※] スウイルス1型	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	ウイルス不検出	3	5	12	13	2	7	5	5	2	8	4	1	67
	39	28	26	26	22	18	22	20	24	96	110	47	478	